

家計簿のつけ方の特徴

		メリット	デメリット
アナログ	レシート仕分け式	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単に始められる ・手間がかからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・集計をするまで、支出を把握できない ・集計は電卓を使って計算する必要がある
	ノート記入式 (市販・手作り)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単に始められる ・手を動かして電卓で計算し、金額を書き込むことで何にどれだけ使ったか実感がわく ・決めた場所において、さっと取り出して使える 	<ul style="list-style-type: none"> ・集計は電卓を使って計算する必要がある ・1つひとつ書くのが手間で時間がかかる ・続けていくとノートの量が増え、かさばる
デジタル	エクセル管理式	<ul style="list-style-type: none"> ・集計が簡単にできる ・テンプレートがたくさん無料で配布されている ・好きな項目を追加できるなどカスタマイズしやすい ・データ入力になれてくると記入が早くできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・エクセルやパソコン操作が苦手な人には敷居が高い ・関数や数式の知識が必要 ・パソコンのトラブルによって、データが消える恐れがある ・普段PCを使わないと、起動するのが面倒になり、続きにくい
	家計簿アプリ式	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも持ち歩くスマートフォン上で入力するので、入力を忘れづらい ・収支を自動で計算・集計し、グラフなどで内訳を可視化してくれる ・他人の家計簿と比較できるなど機能が充実している 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリを使い慣れていない場合、使いづらい ・機種変更などで移行が必要なアプリもある ・個人情報・口座などの入力しなければならない

どの方法でも一番大切なのは、月に一度振り返りの時間をもつことです。振り返り方として、一つひとつの支出に対して、必要だった支出には「○」、どちらでもよかった支出には「△」、無駄だったと思う支出には「×」をつけます。そして、「×」の項目について、減らせないかを考え実践していくことです。

家計簿を毎月つけていくと、自分のお金の流れが大きく把握できるようになります。「今月は食費が多かったな」「交際費・レジャー費がだいぶ少なくなった」というように、どんな出費がそれまでと比較して多いのか少ないのかが見えてきます。この「比較できる」ことが家計簿の大きなメリットのひとつ。食費が増えたのであれば、その月の食費の内容を、レシートを見ながら振り返って、「今月は外食が多かったかな」「毎晩飲み過ぎたかな」などと、無駄づかいしていそうな部分、節約できそうな部分を探しましょう。